



五小だより

9月号

令和7年9月1日(月)

国分寺市立第五小学校

042-322-0045

校長 齋藤 晃



五小ブログ



五小ボランティア

2学期もよろしくお願いたします。

校長 齋藤 晃

今日から2学期。五小の子どもたちの元気な姿がまた学校に戻ってきました。

猛暑、炎暑、酷暑・・・様々に表現されますが、今年もまた厳しい残暑が続いています。保護者、地域の皆様は良い夏を過ごされたでしょうか。

さて、夏の全国高等学校野球選手権大会が行われ、沖縄尚学高等学校がこの大会の初優勝を果たしました。今大会では、バッティングと守備をほぼ右腕だけで行い活躍した、岐阜県立岐阜商業高等学校の横山温大選手をはじめとして注目選手も多く登場し、数々のドラマが生まれました。

その中で私は、高校野球の指導や練習の変化に注目しました。長時間の練習をする学校が減少し、毎日練習している高校は全国でわずか3%だそうです。練習時間が短くなったことで、選手が効率よく練習することを意識するようになったり、個人の時間を体の休養や、自分の課題に合った自主練習、練習日誌を書くことなどに充てられるようになったりするなど効果が上がっているそうです。また全国各地で、監督の指示通りに動くこれまでの指導に代えて、「ノーサイン野球」など選手が主体的に考え練習や試合でプレーを行うように指導する学校が増えてきているそうです。

このような変化は、元サッカー日本代表の本田圭佑さんの呼びかけで始まった小学生のサッカー大会「フォーバイフォー4v4」の理念とも通じるところがあります。この「4v4」では監督が不在で、作戦を選手である子どもたちが自分たちで決め、失敗した時も自分たちでより良い方法を考えるそうです。バレーボールでは元バレーボール日本代表の益子直美さんが呼び掛けて始まった「監督が怒ってはいけない大会」、そしてバスケットボールではBリーグ「滋賀レイクス」による子どもたちで作戦を考えコーチ役なども担う「LAKE UP トーナメント」があります。

そして本校でも今、子どもたちが「主体的に学ぶ」姿を目指して、「単元内自由進度学習」などこれからの授業スタイルを模索し、先生たち一人一人が授業改善に挑戦しています。このことを通して子どもたち一人一人が確かな学力とともに、自分に合った学び方を身に付け、ICTなども活用しながら友達と協力して課題を解決していく力を育んでももらいたいと願っています。

とはいえ、かくいう私も、我が家の小1の息子のしつけや勉強では、朝は「早く!」、帰宅後は「〇〇しなさい!」と指示しがちで「怒らない」、「子供に任せる」はなかなか難しいことです。それでもなんとか大人がこれまでの癖から脱して変化し、苦勞しながらも子どもに主体性を育もうとしています。

最後になりましたが、本日から始まる2学期は9月の学校公開・道徳授業地区公開講座をはじめ、様々な取組や行事が予定されています。保護者、地域の皆様、今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

「はたらく消防写生会」作品の表彰について

「はたらく消防写生会」の表彰式が8月23日(土)に行われました。本校では3年生7名が表彰されました。

おめでとうございます。

優秀賞 3-1 石垣 レイさん 3-3 安井 音花さん

入選 3-1 坂本 さつきさん 3-2 杉山 福さん 高塚 左久哉さん

3-3 大川 優月菜さん 田上 紘太郎さん